

全国共同利用に向けた第2回生存圏シンポジウム

次世代循環型資源複合材料

ー グリーンコンポジットからナノコンポジットまで ー

日 時：平成16年11月18日（木）午前10時—午後4時

場 所：京都大学生存圏研究所木質ホール3階（宇治市五ヶ庄 宇治キャンパス内）

主 催：京都大学生存圏研究所

共 催：日本木材加工技術協会関西支部、木質プラスチック複合体研究会、日本材料学会
複合材料部門委員会、同志社大学竹の高度利用研究センター、関西TLO(株)

問い合わせ先：京都大学生存圏研究所生物機能材料分野（0774-38-3658）

入 場 無 料

プ ロ グ ラ ム

開会の挨拶 生存圏科学と循環型資源・材料

川井 秀一（京都大学生存圏研究所学際萌芽研究センター・センター長）

セッション1 植物系FRP：原料から生産、利用まで

植物繊維の配向制御による材料開発

川井 秀一（京都大学生存圏研究所学際萌芽研究センター・センター長）

竹繊維強化複合材料の開発と応用

藤井 透（同志社大学竹の高度利用研究センター・センター長）

グリーンコンポジットの現状と今後の進展

高木 均（グリーンコンポジット研究会幹事、徳島大学工学部・助教授）

昼 食

セッション2 セルロース系ナノコンポジット

特別講演：Cellulose Nanocomposites

Lars Berglund（Professor, Royal Inst of Technology, Sweden）

Cellulose Nanocomposites Activities in Norway.

Kristiina Oksman

（Professor, Norwegian University of Science and Technology）

セルロースマイクロフィブリル強化透明材料

能木 雅也（京都大学国際融合創造センター・産学連携研究員）

マイクロフィブリル化セルロース複合材料

矢野 浩之（京都大学生存圏研究所・教授）

お願い：グリーンコンポジット、セルロース系ナノコンポジットに関する生存研の取り組みについて、メールによる情報配信を希望される方は、受付の箱に名刺等をお入れ下さい。